

装置仕様

Hitachi Virtual Storage Platform One Block High End

仕様表（2026 年 2 月現在）

項目			仕様 ^{*1}
モデル			Hitachi Virtual Storage Platform One Block 85
形名			A-65AH-CBXANNN H-65AH-CBXANNN
ホスト インターフェース	最大 ポート数	ファイバチャネル	192
		メインフレームファイバチャネル	192
		iSCSI	96
		NVMe/TCP	96
ドライブ搭載 可能台数	SSD (NVMe) ドライブ		288台
サポートドライブ	SSD (NVMe) ドライブ容量		3.8TB/7.6TB/15TB/30TB/60TB
最大容量	アレシシステム内部ストレージ（物理）		17.3PB (15.3PiB)
	アレシシステム外部ストレージ（論理）		287PB (255PiB)
キャッシュメモリ最大容量			6,144GiB
サポート RAID レベル			RAID6(6D+2P, 14D+2P), RAID5(3D+1P, 7D+1P)、RAID1(2D+2D) ^{*2}
電源入力（AC）			単相 200V
外形寸法（W×D×H）mm			600～1,792×1,150×2,057 (1 ラック～3 ラック)
騒音レベル LpAm (dB) ^{*3}	動作時	コントローラシャーシ	70dB
		NVMe ドライブシャーシ	65db
	待機時 ^{*4}	コントローラシャーシ	60dB
		NVMe ドライブシャーシ	55dB

※ 1GB=1,000³ バイト、1TB=1,000⁴ バイト、1PB=1,000⁵ バイト、1GiB=1,024³ バイト、1TiB=1,024⁴ バイト、1PiB=1,024⁵ バイトとして計算した値です。

※ 製品の改良などのため、予告なく変更することがあります。

* 1: 本仕様表は 3DKC ペアでの値を表示しています。

* 2: 本装置でサポートする RAID1 は、一般には RAID1+0 と呼ばれます。RAID1+0 では、2 台のドライブにまたがってブロックがミラーリングされ、複数のドライブペアにまたがってストライプセットが作成されます。

* 3: 騒音値は ISO7779 に準拠して以下条件で測定し、ISO9296 に基づいて宣言された値です。
通常装置環境設定（データセンター／一般オフィス）では本ストレージ装置以外の騒音源（装置）や騒音を反射する壁、天井といった上記 ISO 規定の測定条件と異なる要素に囲まれるため、表中に記載の値は設定環境での騒音値を保証するものではありません。
・測定環境：環境温度 23℃±2℃の半無響室で測定
・装置搭載位置：コントローラ筐体はラック最下段、拡張筐体はラック内高さの 1.5m 付近
・測定位置：装置前後左右から各 1m、高さ 1.5m（4 箇所）
・測定値：前後左右 4 点のエネルギー平均値(LpAm)

* 4: PDU ブレーカーがオンの状態では、装置をパワーオフしても冷却ファンが回転しています。